



日本医療機能評価機構認定病院
京都山城総合医療センター
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター
 発行元責任者 中井 一郎

**第17回住民医療フォーラムが
開催されました**

平成28年6月23日木曜日に、当院9階会議室におきまして、第17回住民医療フォーラムが開催されました。「京都府南部地域における放射線医学の展開」というメインテーマのもと、京都府立医科大学から放射線医学教室教授の山田恵先生、同講師の後藤眞理子先生をお招きし、特別講演とシンポジウムが行われました。



特別講演Ⅰは、後藤先生による「乳癌診療における放射線科の役割」で、乳癌の診断過程の実際や、その中における放射線科医の役割をわかりやすく話していただきました。また、木津川市の乳癌検診の受診者数の推移なども話していただきました。

続いて行われた山田先生による特別講演Ⅱは、「放射線医学の過去・現在・未来」という題名で、京都府立医科大学放射線医学教室の歴史の話から始まり、レントゲン博士によるX線の発見、CTの原理につながる断層撮影の話、CTやMRIの開発の歴史とその進歩、京都府立医科大学で導入予定の陽子線治療装置の詳細、近未来の新しい癌の治療

方法、人工能による医療の変革などについて、ユーモアを交えながら熱く語っていただきました。



休憩をはさんだシンポジウム「京都府南部中核病院における放射線科の役割」では、当院の新井副院長、岩本副院長、佐野放射線科副部長に加えて、山田先生、後藤先生にも参加していただき、テーマに沿って意見を交換しました。放射線科医には、無駄な検査をなくすためのゲートキーパーとしての役割を期待するといった意見や放射線治療装置の導入が望まれるとの意見が出ていました。最後に中井一郎院長による閉会の挨拶があり、定刻を少し超過してフォーラムが終了しました。

フォーラムの開始時刻には朝からの豪雨もやみ、たくさんの方に参加していただきました。今後も地域住民のみなさまに関心の高いテーマを選択して、このフォーラムを続けていく予定です。ご協力の程よろしくお願いたします。

副院長 石原 潔

**平成28年熊本地震における
当院DMAT初出動の経験**

当院では平成19年9月にDMATが結成されましたが、隊員の退職や人員不足等により、これまで実際に出動する機会がありませんでした。今回熊本地震本震当日の午後に出動し、陸路で熊本入りしてDMAT活動を経験いたしましたので報告させていただきます。

2016年4月16日午前1時25分頃の熊本地震の本震によりDMAT出動の要請を受け、同日午後には隊員6名で、救急車と病院公用車に分乗し陸路で熊本に向けて出発しました。17日午前8時30分に参集拠点である熊本赤十字病院に到着しました。17日は熊本赤十字病院に入院中の心臓手術術後の状態が安定した患者さんを上天草総合病院に搬送する任務を遂行いたしました。18日は熊本市内の病院で、建物の倒壊の危険性があるため病院避難を決定した病院の後方支援と、その病院に入院中の癌末期患者さんを山賀市民医療センターへの搬送の任務を遂行いたしました。いずれも交通渋滞による長時間の移動で患者さんの様態変化が懸念されましたが無事に搬送できました。18日午後5時をもってDMAT活動を終了し撤退、19日午後には当院に帰還いたしました。

我々は今回が初出動であり、陸路道中における災害派遣車両通

行に関する事務手続きなど研修や訓練では経験しなかったことがあり、次回以降の出動に向けての反省点が浮き彫りになりました。

佐々木康成、村田 智春、東尾 智子
 山本 千里、高嶋 徹、大西 勝也



新人職員紹介



3階病棟

公文代 恵・前川 達哉
下村 芽衣

入職して2ヶ月が経ち、日々の業務や疾患について覚える事がたくさんあり大変ですが、先輩方の熱心なご指導により充実した毎日を送っています。一日でも早く一人前の看護師になれるよう頑張っていきたいと思います。

4階病棟

森藤 麻彩・大塚 美保
吉田 美緒

入退院の多い病棟であり、日々様々な疾患の方を受け持っています。先輩方のご指導や助言を頂く中で学びや反省がたくさんあります。それを生かして成長していきたいと思っています。

5階病棟

脇下 祥子・福永 紗也
原 美緒子・藤川 更紗
重本 悠斗・前川智恵子

5階病棟は、脳神経外科、整形外科、神経内科の混合病棟です。今年の新人は、男性1名を含む6名で、日々皆で励まし合っています。患者さんの心に寄り添い、信頼される看護師になれるよう、笑顔を忘れずに頑張ります。

6階病棟

瀧口 有希・太田 朱音
西脇江里奈・下岡 麻衣
勝田 真由

6階は、呼吸器外科・消化器外科・乳腺外科・泌尿器科・腎臓内科の病棟です。優しい先輩方に囲まれながらチームワークを大切にじやんじやんバリバリ山城魂で毎日頑張っています。よろしくお願います。

7階病棟

辻 茉倫・安藤 優花
甲斐朝衣莉・浦口 綾香

まだまだ未熟な私達ですが、先輩たちの熱心なご指導のもと、日々業務に励んでいます。これから、患者さんを支えられるような立派な看護師になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願います。

8階病棟

稲原 有彩・松本 竜也

当病棟は、患者さんを地域へ繋ぐ支援を行っています。その中で患者さんの個性を捉えるためできる限り家族も含めた関わり、退院後不安なく生活できるような支援をするために日々学習しています。

手術室

永野 芙美・藤田 歩
松本 英俊

患者さんが安心して手術が受けられる様な看護を提供できるように頑張っていきたいと思っています。

リハビリテーション科 言語聴覚士

濱田 絵夢

今はまだ覚えなければいけないことがたくさんあり、1日1日をめまぐるしく過ごしています。患者さんと対面すると緊張してしまうこともまだまだ多いです。今後、業務をしっかりと覚え、気持ちに余裕を持ち、患者さんに安心して「この人と一緒に頑張ろう!」と思っただけのようなリハビリを目指して頑張りたいと思います。

地域医療連携室 臨床心理士

谷川 誠司

チーム医療における臨床心理士は黒子なのですが、治療や処遇のアクセント・職員間の触媒として作用します。準備期間を経て、本年度より新たに「メンタルヘルスケア・ユニット」となり、緩和ケアチーム・神経内科医療相談・小児科医療相談などの活動に加え、ストレスチェックや研修会を通して、職員の精神衛生をサポートします。

「お薬でお困りのことは べつじりませんか？」 身近な薬剤師を目指して

当院では、入院患者さんに安全で適切な治療を受けていただけるよう、各病棟に専任薬剤師を配置し、「病棟薬剤業務」を通じて入院から退院までの薬物治療に携わっています。

入院されたら患者さん、またはご家族の方へ聞き取りに伺い、入院時に持参された薬の内容や服薬状況、薬剤アレルギー、副作用歴などの確認を行います。得られた情報を医師や看護師と共有することで、円滑に治療を進められるよう努めています。

入院中に開始される薬があれば、薬の効果や使用方法、副作用の説明といった服薬指導も実施しています。指導に入る前にカルテにて正しい量で処方されているか、飲み合わせの悪い薬がないか、適切な治療薬かどうか検査値などを含め投与前にチェックします。

患者さんごとに薬の量の細かい設定が必要な薬は年齢、身長、体重、薬の血中濃度や検査数値から今後の薬の血中濃度を予測し薬の投与量や投与間隔について主治医へ提案することも取り組み始めています。

投与後は飲みづらい薬はないか、副作用が生じていないかを確認し最良の治療効果が得られるよう努めています。

緊急を要する時のために、病棟内に

薬剤を常備しています。その薬剤の保管状況や期限を定期的に確認することも病棟薬剤師の役割の一つです。また他の医療従事者から薬剤に関する相談や質疑にも迅速な対応ができるよう努めています。

退院後も薬の必要性を理解し、正しく続けてお飲みいただくことは大切なことです。きちんと服用できるか患者さんに合った管理方法を提案し、支援させていただいています。

地域の病院としてかかりつけ医院・かかりつけ薬局との連携が求められる中でその繋がりを強化し、より良い服薬を心がけて、薬剤師を身近に感じただけできるよう日々切磋琢磨しています。ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

薬剤部



2016

看護の日 健康フェスタ



平成28年5月11日、当院正面受付前にて「看護の日 健康フェスタ2016」を開催し、雨天に関わらず、およそ100人の方々が足を運んでくださいました。毎年楽しみにしてくださる方をはじめ、初めて参加される方、多くの方々が参加してくださり、温かい雰囲気の中で、看護の日のイベントを終了することができました。普段なかなか測定することができない血管年齢測定、骨密度測定では、「栄養しつかりとらなあかん」と言った声が聞かれ、栄養パンフレットを持ち帰る方がたくさんおられました。



また、毎年皆様からの反響が大きい、理学療法士による靴選びは、今年も人気が高く整理券がすぐに終了してしまう程大盛況でした。

専門職によるブースでは、フットマッサージ、ハンドマッサージ、健康相談を設置し、日々皆さんが疑問に思われていることや悩まれていることに対してアドバイスをしたりし、「また来年もきます」といった嬉しい声が聞かれました。

6階病棟 児玉 風紗

登録医 当院では、地域のかかりつけ医との連携診療を進めています。
紹介 「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させていただきます。

【ふるかわ医院】 (木津川市)
 診療科：小児科・内科・アレルギー科
 院長：古川 裕 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:30～15:30	×	×	◆	×	◆	×	×
16:00～19:00	○	○	○	×	○	×	×

◆…予防注射・アレルギー(要予約) ※受付は診療終了の15分前
 休診日：日・祝日、木・土午後

先生から一言：アレルギーと感染症を中心に、赤ちゃんからご老人までを診察しています。日々進歩する医学に遅れないよう、学会やセミナーに参加して新しい知識を吸収しています。

所在地
 〒619-0221 京都府木津川市吐師宮ノ前 15-18
 TEL：(0774) 75-2650

【若菜医院】
 (木津川市山城町)
 診療科：内科・小児科
 院長：若菜 和雄 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
18:30～20:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日：日・祝日、木・土午後

先生から一言：父親から交代して、はや28年になりました。現在は子供から高齢者までを対象に地域に根ざした診療を続けています。

所在地
 〒619-0205 京都府木津川市山城町椿井戸 27-1
 TEL：(0774) 86-2064

【おく内科医院】
 (相楽郡精華町)
 診療科：内科、リウマチ科、糖尿病・代謝内科、消化器内科
 院長：奥 和美 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○	×
16:30～19:30	○	×	○	○	○	×	×

休診日：日・祝日、木午前、火・土午後

先生から一言：十分な説明と納得を基本に生活習慣病を中心とした内科全般の診療を管理栄養士、スタッフとともにを行っています。かかりつけ医として地域に根ざした医療を行いたいと思います。

所在地 〒619-0232 京都府相楽郡精華町桜が丘 3-2-1
 エスペローマ高の原ウエスト 1 番館 1F
 TEL：(0774) 72-7023



認知症サポート チームについて

① 認知症の周辺症状(※)が強い患者様の症状改善を図り、急性期治療を継続して頂くこと、
 ② 院内職員の認知症対応力向上を図る、ことを主な目的として、今年4月、院内で「認知症サポートチーム」を立ち上げました。構成する職種は、医師、看護師、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士です。活動は、週1回の病棟巡回を実施し、入院での環境になじめない認知症を持つ患者さんの状況の把握と、必要に応じて担当看護師に対応方法についてアドバイスをを行っています。また、定例会議で活動内容を振り返り、今後の活動に活かすようにしています。始まったばかりの「認知症サポートチーム」ですが、より一層充実した活動ができるよう、努力していきたいと思っています。

※徘徊、不安、興奮、妄想、せん妄、介護に対する抵抗などがあります。

認知症サポートチーム 松本 雅子
 (認知症サポートナース)



介護老人保健施設 やましろ

「食べる」ことは生きる意欲につながり、生活の質(QOL)を高め、こころと体に栄養を与えてくれます。そんな毎日の食事をご利用者様もとても楽しみにされています。

老健やましろでは加齢とともに噛む力が低下されている方も食べやすいよう、軟らかく調理して小さく切ったり、飲み込む力が低下されている方にはとろみをつけたり、ゼリー状に固めたり、見た目にもおいしく、食べやすく飲み込みやすい食事になるよう工夫しています。

近年、B級グルメなどのご当地メニューの人気が高まっています。当施設でもご利用者様に日常から離れてちよっとした旅行気分が味わえるよう、『日本味めぐり』と題して日本各地のご当地メニューを毎月取り入れていきます。長崎県のトルコライスや青森県のせんべい汁、福井県の越前そばなどのポスターを掲示すると「次はこの県?」「これはどんなメニュー?」「ここに行ったことあるよ!」とご利用者様やスタッフで盛り上がっています。

その他にも季節の行事食やにぎり寿司などのイベント食もあり、食事を楽しんで頂いています。

◎ご見学、ご相談等お気軽にお問い合わせください。なお、介護職員も募集しておりますので興味のある方はご連絡ください。

介護老人保健施設やましろ
 (0774) 73-0359

看護師 募集

地域の中核病院で一緒に働きませんか
 詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.yamashiro-hp.jp/>

待遇 ○地方公務員に準ずる
 ○期末勤勉手当 年2回(6月、12月)
 ○定期昇給 年1回

●H29年度新入職者
 ●中途採用者

お気軽に
 お電話ください

TEL0774-72-0235 (看護部もしくは事務局まで)